



南島原市誕生



▲本庁 西有家庁舎



▲南有馬庁舎



▲深江庁舎



▲布津庁舎



▲口之津庁舎



▲有家庁舎



▲加津佐庁舎



▲北有馬庁舎

南島原市『市章』



【デザイン的主旨】

南島原市のイニシャル「M」をモチーフに青い海、美しい山々を図案化。

「南向きに生きよう！」をテーマに住民の活気ある姿と、新市の『融合』・『団結』と上部へ伸びる三角形は未来への発展の願いが込められています。



南島原市長職務執行者
元山 芳晴

固有のキリシタン文化など共通する財産を多く持っています。しかし、時代の変化の波は確実に地方にも押し寄せてきており、社会や経済の情勢が厳しさを増す中で、各地域の個性を融合させながら新しい地域の力を構築することが求められています。新市南島原市の、基本理念である「南向きに生きよう 緑とぬくもりのある感動創造産地 太陽と自然の恵みでひとときを輝く 南島原市」を実現するため、互いに知恵と力を合わせた大きな連携の中で、理想的な地域づくりに取り組む、夢と誇りを持つ魅力溢れる素晴らしいまちづくりを推進してまいりたいと考えています。南島原市政が円滑に運営できますよう微力ながら市長職務執行者としての期間、全力を挙げて取り組んで参ります。皆様のご支援とご協力をお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

島原半島の南東に位置する雲仙地域八町は、それぞれ個性豊かな地域性を有しながらも、陽光きらめく温暖な気候や緑豊かに広がる大地、長く連なる海岸線など美しい自然景観や、この地域で栄えた

仙地域合併協議会」においては、平成十五年九月五日の設置以来、二十四回に亘る協議会を開催し、数多くの困難な課題について、それぞれが地域住民の将来に対する責務を果たすという大きな観点からそれを克服し、南島原市誕生の実現という今日にたどり着きました。

ここに至るまで、住民皆様をはじめ、国、県、関係機関の深いご理解とご支援、ご協力を賜りましたことに心よりお礼を申し上げます。平成の大合併とも称された歴史的な転換期に、旧八町で構成された「雲

南島原市の誕生にあたって



平成十八年三月三十一日、深江町、布津町、有家町、西有家町、北有馬町、南有馬町、口之津町、加津

佐町の八町が合併し、人口約5万4千人、面積約170平方キロメートルの南島原市が誕生いたしました。